

「日々の理科」(第 4022 号) 2025, -8, 11

「北海道一周鉄道旅行 (25)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka



根室駅に着きました！この前の日に最北端の稚内駅に行ったので、2日のうちに、最北端と最東端の駅を続けて訪ねたことになります。

2025 年 3 月までは、一つ釧路寄りの「東釧路駅」が「日本最東端の駅」でした。しかし、東釧路駅が廃止された「おかげ」で、根室駅は「日本最東端」を堂々と名乗れるようになったわけです。



これが「日本最東端の車止め」と「日本最東端の転轍機 (ポイント)」です。稚内駅のように観光用の撮影ポイントにもなっておらず、ごく普通の車止めです。その向こうは地元の人の駐車場で、非常に地味です。



稚内駅は特急列車も発着し、お客さんも多かったです。駅の周辺に観光スポットもあるので、「華やかな最北端の駅」でした。しかし、根室は1両の普通列車が1日に5本発着するだけの、「ひっそりとした最東端の駅」です。



私が乗ってきた根室行の列車は、わずか 19 分後に押し返して釧路行の普通列車になります。到着した時からもう大勢並んでいて、駅舎内は結構な行列になっていました。乗ってきた列車からそのまま折り返す人は、一旦改札を出て、最後尾に並ぶルールです。



現在根室駅を発着する列車は、到着も5本、出発も5本です。かつては急行列車も発着していましたが、今はすべて普通列車か快速列車だけです。



駅舎も稚内駅に比べると地味な印象です。ただ、3月から日本最東端の駅になったので、その看板だけは華やかにデザインされていました。



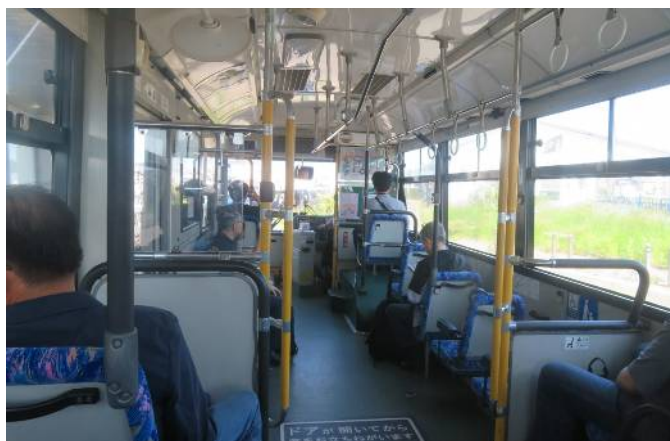
私は乗ってきた列車では折り返さず、バスで納沙布岬（のさっぷみさき）に行くことにしました。納沙布岬には過去に何度か行きましたが、せっかく根室まで来たのですから、少し足を伸ばそうと思ったのです。



納沙布岬行きのバスは、駅前から出ています。だいたい列車の到着に合わせて、一日に4～5本です。



片道ずつ買うよりも、バスターミナルの切符売り場で往復で買った方が少し安くなるので、私は往復券を購入しました。もちろんタクシーやレンタカーよりもずっと安く済みます。



バスはごく普通の「路線バス」です。外の風景さえ見なければ、大塚駅から錦糸町駅に行くバスに乗っているのと何も変わりません。乗客は7～8人で、空いていました。



バスは細い根室半島を走ります。風力発電の風車がたくさんあります。根室半島は北・南・東の三方を海で囲まれているので、一年を通じて風が強く、風力発電に適しているのでしょう。